

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【布野会場】

テーマ

(1) 定住の地域経済活性化のための交流事業の推進

平成25年7月22日(月) 会場名 布野生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>① 自主防災組織の育成といわれるが、消防団の団員はほとんど仕事で三次に出ている。この状態で、どのような対応がとれるのか。防災に対する意識もどんどん薄れてしまうのではないかと危惧しており、自主防災組織育成に力添えをいただきたい。</p>	<p>局地的な災害の場合では、支所の役割の中で本部と連絡をとって、他の地域から応援部隊を出すことも考えていきたいと思えます。自主防災組織の育成について、今年度は地域防災力強化事業として機材の導入など支援を行い、支所としても、自主防災会議と連携して防災マップの作成を進めます。</p>
<p>② 災害等非常時に迅速に対応できるよう、あらかじめ土のうを作って確保してはどうか。</p>	<p>地域の皆さんから、支所または自主防災組織等への要望によって、防災力強化事業で資材の準備等に対応していきます。</p>
<p>③ 下水道料金の遡及について、転入・転出等手続きは窓口で行っているのに、その時点では言われなかった。条例をみると、我々の義務違反もあるが、職員の職務怠慢もある。条例を知らながらそうしてきたことに関し何もされていないことに憤りを感じる。職務怠慢について、ペナルティを与えるということも考えないといけないのではないか。</p>	<p>行政が行うべき住民基本台帳登録人数の確認をしてこなかったこと、そして利用者は、世帯人数に異動があった際に、変更の届け出をされていなかったことが原因で起こったことで、今回追徴または還付の形をとらせていただきました。申し訳ないことではありますが、ご理解をいただきたいと思えます。職務怠慢の責任と言われることについては、最終整理がついた段階で考えていきたいと思っています。</p>
<p>④ 長寿村の件について、市は公社へ補助金を払うのではなく、債務負担行為事項により、金融機関へ直接支払うべきではなかったのか。</p>	<p>開発公社が借用契約行為をしており、返済時にも公社が存在しているので、補助金を受けて金融機関へ返済するのは、適切な処理であったと考えます。</p>
<p>⑤ 空き家を活用することで、人口の減少に歯止めがかかるのではないかと。空き家は、布野町内にいくつあり、三次市内でいく</p>	<p>三次市空き家情報バンクによる平成24年度の定住世帯は10世帯、また、定住実績人数は29人です。空き家バンクの利用により定住が進んでいます。布野町の</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【布野会場】

テーマ

(1) 定住の地域経済活性化のための交流事業の推進

平成25年7月22日（月） 会場名 布野生涯学習センター

意見・要望	回 答
つあるか。	登録数は現在1戸です。
⑥ 地域内への配布作業を効率的に行ったり、地域でまとめるためには、市が主導して行政区の見直しを行った方がよいのではないか。	現在のところ、市として行政区を見直していくという方針はもっていません。地域でそういう話がありましたら、まず住民自治組織等で意見をまとめていただき、必要があれば市として考えていきます。
⑦ 公共交通であるバスの運用について、経費を考えると大型バスではなく、中型やワゴンなど利用人数に見合ったもので良いのではないか。	大型バスが走っているのは、バス会社が路線を指定して申請したうえで、バスを購入しているという事情があるためだと思います。
⑧ 固定資産税について、30万円未満の物件は非課税となっているが、不平等であり、1.4%の普通の課税をするべきだと思う。	固定資産税の免税点は、家屋20万円未満、土地30万円未満となっていますが、これは地方税法で定められているもので、国の法律を超えることは現在認められていません。
⑨ 各集会所の所有権はどこにあるのか。	集会所には、市が建てたもの、地域が持ち出しで建てられたものなど様々あります。
⑩ 神野瀬川水系の小水力発電にかかる450万円の交付金について使途不明と聞くがどうなっているか。	【後日回答した趣旨】 市町村合併前の平成15年度までは、消防施設や地域コミュニティ施設の整備などに充当しています。また、平成16年度以降は、君田町、布野町、作木町の発電所が対象となり、各保育所の保育士の人件費と消防施設の整備に充当していま

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【布野会場】

テーマ

(1) 定住の地域経済活性化のための交流事業の推進

平成25年7月22日(月) 会場名 布野生涯学習センター

意見・要望	回答
	す。
<p>⑪ 三次市として人口増進についてどのような計画で進められているか。また、少子高齢化社会に起こる問題について、どのような対策を考えているか。50年先を見据えたビジョンを伺いたい。</p>	<p>三次市の将来像としては、住み続けていける、あるいは、Uターン者が安心して帰ることができる環境整備として、医療・子育て・教育・福祉の充実、商業の発展等に取り組み、生活最優先都市の実現を追求し、魅力性を高め、地域間競争に勝ち抜けるまちづくりを進めます。</p>
<p>⑫ 布野特産センターふれあい市場へ、集客数の増加と就労機会の創設のため、農産物の加工施設等を整備してはどうか。</p>	<p>布野作木特産等生産流通協議会や株式会社布野特産センターの意見を伺いながら、どのような拠点をめざしていくべきか、今後、議論を重ねていきます。</p>
<p>⑬ 消費者と生産者との交流を促進するため、支所のコーディネート機能は不可欠であり、先進情報・ノウハウの提供・交流事業の企画提案・事業実施の支援に積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>支所として、産地の情報発信に努め、生産農家の方々と連携して、特産センター、ふれあい市場、道の駅が発展するよう総力をあげて支援していきます。</p>